

第7回森町総合計画審議会議事概要

日 時：平成18年2月7日（火）午前10時～10時30分

場 所：町民生活センター 集会室

出席委員：鈴木奉会長、友田和副会長、太田委員、榊原委員、岩瀬委員、岩附委員、打田委員、大石委員、大竹委員、大場委員、奥宮委員、小倉委員、小野委員、片岡委員、川口委員、鈴木よ委員、友田明委員、松井委員、村松委員、山根委員

事務局：町長、助役、鈴木課長、杉山課長補佐、長野係長、福島主事
静岡総研（石井主任研究員、村松研究員）

1 開 会

2 会長挨拶

3 議 事

（1）森町総合計画基本構想の答申について

<資料に基づき事務局説明>

<意見・質疑応答等>

会 長： 森町総合計画の基本構想の答申に関して、前回ご指摘をいただいた語句の修正等も説明いただき、また、答申の意見についても説明があったが、他に意見があったらお願いします。これまでの審議において、特に意見の多かった「基本構想などを町民に理解してもらう」、「そして、まちづくりに参加してもらう」ということについては、「広報等を通じて、また、これからの基本計画の策定にあたっては、町民によく理解してもらわなくてはならない」というような答申の意見をつけてある。

委 員： 答申の文面について、事前に拝見したが、こうして改めて見て、大変委員の皆さんの気持ちをくんでいる表現になっていると思う。誠に結構だと思う。

会 長： それでは、ほかにご意見もないようなので、総合計画基本構想の答申について、ご了承いただきたいと思うが、ご異議はないか。

（異議なし）

会 長： ありがとうございます。異議なしということで、答申をさせていただきますと思う。

4 答 申

<会長が答申を読み上げ>

町 長： 一言、お礼のあいさつを述べたいと思う。総合計画審議会の委員の皆様には、昨年の8月以来、7回にわたって、熱心なご議論をしていただき、そして、ただいま答申をいただき、誠にありがとうございます。総合計画の基本構想については、3月議会に提案させていただき、必ずや議会でもご承認いただけるものと期待しているところである。この基本構想の内容については、森町協働まちづくり委員会の提言の主旨を尊重していただいた上で、さらに内容の濃い、また、町民にとって分かりやすいものにつくりあげていただいたことに感謝している。

さらに、ご意見としていただいた内容については、重要な内容が含まれていると重く受け止めている。これから森町が進む道というのは、決して楽観できる状況ではないが、森町の進むべき姿がここに明示された。それに向かって、町民、行政が共に手を携えて協働のまちづくりの精神でもって、まちづくりを進めていきたい。その道筋がひとつ出来たのかなと思う。今後は、この目標をどう具体的に進めていくかという基本計画にうつる訳だが、基本計画においても、是非、委員の皆様方の忌憚のない意見を出していただくよう、お願い申し上げます。

森町ならではの「ええら森町！」にお知恵を、また、ご協力をいただきたく、お願い申し上げます、お礼の言葉とさせていただきます。

5 閉 会

事務局： これまで総合計画基本構想のご審議ということで、大変お忙しい中、中身の濃いご審議をいただき大変ありがとうございました。審議会でいただいたご意見等を踏まえて、基本構想につきましては、町民への周知の方法等を含めて、出来るだけ分かりやすく広報などを行っていききたいと思う。なお、基本構想に関するご審議については予備日等を設けてあるが、本日で終了ということをお願いしたい。

今後、答申をいただいた基本構想については、3月議会へ提案し、議会で議決した後に正式に確定という運びになる。審議会の委員におかれては、来年度から基本計画のご審議をよろしくお願いしたいと思う。来年度の第1回の開催については、5、6月頃を目途にしている。大変お忙しい中、恐縮だがよろしくお願いしたい。

以上で本日の審議会を閉会する。ご協力ありがとうございました。

会 長： 委員の皆様、どうも大変ありがとうございました。熱心なご協力をいただき、本日、答申ができた。ただ今、事務局からあったように、この基本構想が議決した後に、基本計画という運びになる。引き続き、よろしくお願いしたい。ありがとうございました。

(以上)